

第33回 通常総代会

2007年度活動のまとめ(案)

● 第1号議案 ●



後期高齢者医療制度中止・撤回署名行動

はじめに

城南保健生協は昨年、1977年11月の創立総会から30周年を迎えました。創立時1千世帯の組合員でスタートし、現在は2万世帯を超える組織に発展しています。私たちは、この30年の歴史を確信にして、これからも地域、職場のみならず幅広い活動で民医連運動を展開し、いっそう頼りになる医療生協活動をめざしていく決意です。昨年7月に行われた参議院選挙で、自民党・公明党与党が過半数を失い、新しい政治状況が生まれました。任期中に改憲を行うと公約し日本を戦争ができる国に変えようとした安倍首相をはじめとした靖国派に痛打を与え、改憲策動を大きく後退させることができました。国民各分野のたたかいも短期間で大きな前進を作り出しており、東京大気汚染裁判や薬害肝炎原告団のたたかいなどは象徴的です。

4月から実施の後期高齢者医療制度は、「高齢者を年齢で差別する」「保険料を年金から天引きする」「医療内容が制限される」など、日に日に国民の怒りが高まっており、改憲を強行した自民・公明の与党も一部凍結せざるを得なくなっています。4月に改めて4野党共同提案として「後期高齢者医療制度廃止法案」が衆議院へ提出されました。後期高齢者医療制度の廃止に向けておおいに世論を盛り上げていきましょう。今年は解散総選挙が予想され、来年は都議会議員選挙です。福田自公政権、石原都政の横暴を止める絶好のチャンスです。

2007年度活動の特徴

1 さまざまな困難を乗り越えて、ようやく2ヶ所目のグループホーム（仮称）虹の家しおかぜ（大田区大森東5丁目）の工事が開始されました。計画では2ユニット（18人）＋認知症デイサービスの併設でしたが、グループホームのみとなりました。現時点では11月1日開設を目指して着々と工事が進み、職員体制の確保、教育・研修、入居者募集の準備などをすすめています。開設までにはいくつかの課題をクリアしなければなりません、安心して住み続けられるまちづくりをすすめるために引き続き奮闘します。

2 格差と貧困が拡大する中で、団地や高齢者世帯での孤独死が増え、城南保健生協としても「助け合いまちづくり委員会」を中心にミニデイサービスの拡大やボランティア学校の開始、配食サービスの拡大などを検討してきました。東京医療部会の活動交流会でも報告し、大きな関心が寄せられました。城南保健生協としての「孤独死を出さない」取り組みは今後の重要な課題です。まずは地域での班会や集まりを通じて、一緒に地域を守るネットワークを拡げていきます。

3 品川（5回目）・大田（23回目）での健康まつりは天候にも恵まれ、多くの団体の参加や連携で輪が広がっています。年間を通じての青空健康相談会や商店街での健康相談会、さまざまなイベントでの健康チェックなどで奮闘してきました。新しい班も含めた多彩な（トリム体操・ループ体操・ヨガなど）班会も旺盛に開催され、支部活動の活性化につながりました。また、高血圧に関する学習会2回、健康運動サポーター養成講座、わくわくヘルスチャレンジ、「ころぼん体操講座」などにも取り組み、地域・職域まるごと健康づくり運動がすすんでいます。

4 自治体健診の受診を班活動と結びつけた支部や秋の月間での大腸がん検診など、前進面がありました。一方、組合員健診は十分なとりくみができませんでした。引き続きの課題とします。

5 東京大気汚染裁判では患者・原告の粘り強い運動で歴史的な和解をかちとり、救済制度が前進するとともに、都内の喘息医療の無料制度をスタートさせるなど、実を結びました。アスベスト問題ではアスベスト被災対策大田区連絡会に参加して大田区への要請を行ってきました。今年に岸で大田区が検診を行いました、受診できない対象者が出るなど、継続的な検診と患者救済が求められています。環境省に対して国の責任で健康調査を行うことなどを求めて要請行動にも取り組みました。

6 大田区では「九条の会」を中心に「日本の青空」上映会が取り組まれ、千人を超える参加で成功し、改めて平和憲法の理念を学ぶことができました。また、東京生存権裁判では大田区、品川区から各1名が原告となって老齢加算の復活を求めており、城南保健生協としても支援連絡会に加入して運動を支えてきました。また、大田病院を中心に、映画「シッコ」の上映運動にも取り組むなど、憲法9条、25条をくらしに生かす運動をすすめてきました。



大気裁判・トヨタ前座り込み

保健予防・健康づくり活動

保健活動の担い手づくりでは、健康運動サポーター養成講座（受講者21名）を開催しました。ヨガや太極拳の講師を務めている方なども受講し、実技の内容を多彩にしてくれました。活動の基礎となる班会については、昨年同様、大森糺谷支部が活発な班会を行ない、支部活動の活性化、各種イベントの取り組みなどに発展しています。また、ゆたかの家の多彩な班会、健康体操班会が目立っています。今年は健康な生活習慣を日常の中楽しく定着させるための「わくわくヘルスチャレンジ」（11月～12月）を初めてとりくみました。宣伝不足、班会への呼びかけの弱さなどがあり、申込者は25名でしたが、とりくみ期間が終わっても「続けてウォーキングやってます」「今も毎日、健康体操続けてます」という方がおられました。豊支部では、とりくんだ組合員を囲んで、報告会を行いました。今年度も青空健康相談会は、多くの支部でとりくまれました。

助け合い・まちづくり活動

毎月定例で委員会を開催することができましたが、全支部から委員を選出するには至りませんでした。委員会に支部委員を送り出しているところでは、支部会議の場において「助け合い・まちづくり」のことが一定議論になりましたが、それ以外の支部では話し合いがすすみませんでした。今年度特に委員会として成果を上げたのは「ボランティア学校」の企画、実行でした。城南保健生協としては初めての取り組みであり、受講生の中から多数、大田病院デイケアにボランティアとして参加してくれることにもつながりました。

社保・平和の活動

今年75歳という年齢で高齢者をいじめる「後期高齢者医療制度」に対する中止・撤回を求める運動が大きく進んだ年でした。城南3法人を中心に65回、延1500人近い参加者で学習会を開催し、職員も講師として奮闘してきました。署名は現在、2,865筆（保健生協単独）です。2月末には4野党共同で国会に廃止法案が提出され、4月以降もさらに運動を広げて「廃止」を求めていく課題となっています。原水爆禁止世界大会（長崎）にも4名の代表を送りました。2月14日の虹のバレンタイン宣伝行動に6つの支部でとりくみました。



すずらのフラダンス

文化・スポーツの活動

第26回早春ジョギング大会を3月2日に開催し、大きなけがや事故もなく無事終了することができました。今回のエントリーは983名（うち当日来た人数は844人、完走者は814人）でした、当日は昨年ほど暑くなく、かといって寒くもなく、やや風がありましたがジョギング日和に恵まれました。参加ランナーも大幅に増え、当日のボランティア要員の皆様も86名と昨年を上回るご協力をいただきました。行事としては、健康まつり、ダンスパーティ、ウォークラリー

（1回）、バスハイク（2回）、新春鎌倉ハイキングを行いました。ウォークラリーは今年から歴史街道ウォークとしてただ歩くだけでなく、史跡を巡ったり、体脂肪率を測定したり付加価値をもたせました。また秋のバスハイクは行き先が良かったのと温泉が良かったのか、定員オーバーになるほど盛況でした。毎年恒例の尾瀬ハイキングは、日程の調整ができず、残念ながら中止となりました。

介護・調剤・事業活動

●ヘルパーステーション すずらん

すずらん4事業所では、2007年度前半は利用者数も安定して推移してきました。年度末になり、稼働時間が減少しています。利用者様の入院、永眠等によるもの、新規では生活援助の制限がかかっていること、介護職員の不足により訪問時間を増やせないことなどによります。そんな中でも、身体介護の技術研修、毎月のヘルパー会議、感染予防のマニュアル作成、苦情処理、安全対策の会議などサービスの質を上げるための対応に力を注ぎました。寝たきりだった方が、座位をとり、歯磨きを行い、ボタンの掛けはずしが出来るようになる。自宅の入浴介助で笑顔が増える。入院回数が減ったなど、多くの方をお元気に出来るケアに努めてきました。

●ゆたか調剤薬局

ゆたか調剤薬局は少ない常勤体制の中で、非常勤薬剤師の力も借りて乗り切ってきました。訪問服薬指導やケアプラン作成など、介護保険分野の業務も人員体制がきびしい中でも予算を超過して奮闘してきました。今年ゆたか病院が診療所となり、患者減とともに処方薬の長期化で収益減が予想されましたが、薬剤収益は予算・前年を上回ることができました。今後も利用しやすく、頼りになる薬局をめざしていきます。

●虹の家みちづか

「虹の家みちづか」は5年目を迎え、入居者の長期入院や交替などもありましたが、安心・安全・信頼の家づくりをめざして4度目の第三者評価を受審しました。職員体制はベテラン職員の退職で不安定となり、他事業所からの応援態勢や異動で乗り切ってきました。季節ごとの家族会や近隣の方々、町会、民生委員との交流もさらに拡がり、年間を通して多くの見学者を受け入れてきました。今後は2ヶ所目となるグループホームの開設に向け、職員の交流、研修などに力を入れていきます。

●本部・事務局

早春ジョギング大会・各種イベントの成功、助け合いの会「たんぼぼ」の活動、各支部活動の支援、反核平和・社保・保健教育・助け合いまちづくり・機関紙などの委員会活動の事務局、健康まつりの事務局など、様々な課題に取り組み前進させてきました。映画「シッコ」の上映運動の事務局、社会保障の活動分野でも大田区、品川区の地域社協の事務局を担ってきました。総代会に向けて大いに論議していただき、前進面を確認して確信にすると同時に、次年度に取り組みむべき課題を明確にしていきたいと思います。

生協組合員拡大実績（3月まで）

支部	拡大目標	拡大実績	達成率	前年実績	前年差	前年比
西品川	80	52	65.0%	18	34	288.9%
品川	20	1	5.0%	3	-2	33.3%
海岸八潮	50	30	60.0%	10	20	300.0%
ゆたか	100	24	24.0%	13	11	184.6%
大井	40	13	32.5%	2	11	650.0%
中延	40	11	27.5%	8	3	137.5%
小山	20	15	75.0%	2	13	750.0%
六郷	80	98	122.5%	14	84	700.0%
羽田	15	6	40.0%	7	-1	85.7%
蒲田西	10	7	70.0%	1	6	700.0%
馬込	40	20	50.0%	17	3	117.6%
池上	20	1	5.0%	6	-5	16.7%
うのき	80	30	37.5%	55	-25	54.5%
大森糺谷	325	140	43.1%	175	-35	80.0%
大森西北	80	72	90.0%	41	31	175.6%
全体合計	1000	520	52.0%	372	148	139.8%

2007年度「主要行事」の取り組み

機関紙「城南の保健」	5月1日(火)	300号
春のバスハイク	5月13日(日)	森林公園 175人が参加
第5回品川健康まつり	5月19日(土)	戸越公園 400人
高血圧の話(島田医師)	6月16日(土)	品川中小企業センター
早朝高血圧学習会(千田医師)	6月22日(金)	生活センター
「なかしんまつり」	7月14日(土)	大森中診療所
ドルフィン水泳合宿	7月22日(日)～23(月)	大浦海岸
全国うのきまつり	7月28日(土)	うのき商店街
ころば大森夏まつり	7月29日(日)	ころば大森
原水爆禁止世界大会	8月7日(火)～9日(木)	長崎 生協4名の代表
人の役に立つロボット研究会	9月1日(土)	大田病院内
すずらん全体集會	9月20日(木)	ヘルパー67人
9月29日(土) ボランティア学校	9月22日(土)	大田病院内 15人修了
第23回大田・品川健康まつり	10月28日(日)	丸子橋緑地公園 3500人
第4回健康運動サポーター養成講座	10月10日(水)～11月28日(水)	大田区民プラザ
第1回わくわくヘルスチャレンジ	11月1日(木)～12月31日(月)	
大森中診療所バザー	11月10日(土)	
秋のバスハイク	11月11日(日)	袋田の滝 100名
創立30周年記念祝賀会	11月17日(土)	アプリコ 206人
第25回ダンスパーティー	11月23日(祝)	大田文化の森 58人
健康ウォークラリー	12月2日(日)	いにしへの東海道 10人
新春鎌倉ハイキング	1月5日(土)	16人
虹のバレンタイン行動	2月14日を中心に	6支部
第26回早春ジョギング大会	3月2日(日)	814人完走
東京都生協連組合員活動交流会	3月8日(土)	中野生協会館
映画シッコ上映会	3月17日(月)	アプリコ 930人
後期高齢者医療制度中止・撤回を求める東京大集會	3月23日(日)	井の頭公園

この他、各地域で「青空健康相談」「新春のつどい」「学習会」「バザー」など多彩に取り組みました。

【各委員会の活動概要報告と方針】

〈機関紙活動〉

- 1、年間10回の定期発行と内容充実をめざしてきました。編集委員会を毎月定例で開催し、より充実した紙面にしていこうと、話し合いをしてきました。
- 2、一面は大きな取り組みの報告、二面は支部の報告、三面は医療記事や院所の案内、四面は行事の報告や案内を中心に載せています。

【各支部の報告と方針】

総代会に向けて各支部で検討中です。

《経営改善の取り組み》(経営実績と予算の詳細は別紙提案)

決算終了後文章化します。

《仲間増やし・班会開催などの組織運営》

3月までの到達は表の通りです。

班会開催実績（3月まで）

支部	班会目標	班会開催	達成率	前年実績	前年差	前年比
西品川	20	40	200.0%	17	23	235.3%
品川	10	0	0.0%	0	0	0.0%
海岸八潮	30	44	146.7%	29	15	151.7%
ゆたか	200	183	91.5%	166	17	110.2%
大井	30	10	33.3%	11	-1	90.9%
中延	50	81	162.0%	76	5	106.6%
小山	10	0	0.0%	0	0	0.0%
六郷	50	42	84.0%	39	3	107.7%
羽田	10	27	270.0%	24	3	112.5%
蒲田西	10	11	110.0%	4	7	275.0%
馬込	50	38	76.0%	32	6	118.8%
池上	10	16	160.0%	2	14	800.0%
うのき	50	38	76.0%	18	20	211.1%
大森糺谷	120	141	117.5%	131	10	107.6%
大森西北	20	38	190.0%	7	31	542.9%
全体合計	670	709	105.8%	556	153	127.5%